

科目名	スポーツ心理学特論	担当者	タネガシマ 種ケ嶋 ヒサシ 尚志	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	---------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座では、スポーツ心理学的諸課題について具体的な解決方法を修得することにより、以下の能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。</p> <p>II. 仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的批判的な考察を通じて、課題に対し、具体的かつ、論理的整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。</p> <p>III. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。</p> <p>IV. 集団の活動において、より良い成果を上げるために、他者と協働し、作業を行うとともに、指導者として他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>問題発見・解決力：スポーツにおける諸問題の課題解決の為に、スポーツ心理学領域を理解し、具体的な解決方法の心理学的案出と課題解決の為に心理学的思考を修得することを目標とする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>①科目内で扱った事象をスポーツ心理学的視点から説明することができる。(知識・想起・態度)</p> <p>②科目内で扱った内容をベースに自分自身を表現することができる。(知識・解釈)</p> <p>③運動・スポーツの課題を心理学的視点から捉え、課題解決の方法を論理的に記述することができる。(知識・技能)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>manaba folio のコレクションを利用して、インタラクティブな個別指導を受ける。(SBOs①)</li> <li>manaba folio の掲示板を利用し、受講者同士の協働学習を行う(課題図書等に関する受講者同士の質疑応答・意見交換、レポートの推敲のためのピア・レスポンス等)(SBOs②③)</li> <li>図書館、インターネットを利用した参考文献を調査や、フィールドワークからレポートを作成する。(SBOs①②③)</li> </ul> <p>【学修方略 (LS) と学修時間】</p> <p>与えられた課題に沿って教材を丹念に読み、参考文献も参照しながら、レポート作成を行う。(自習した内容を自主研究に繋げレポート作成し成果物としてまとめる)</p> <p>レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。</p> <p>学修項目 課題図書内に示されているキーワードを文献等を用いて調べる</p> <p>学修時間 1つのレポート作成にあたり、30時間以上(教材学修20時間/レポート1本、レポート執筆10時間/レポート1本)、manaba folio への提出・再提出のやりとりに15時間以上(ディスカッション15時間/レポート1本)を目安とする。</p>		
スケジュール	<p>前期：教材1のレポート課題1草稿は7月30日に提出し、レポート課題2草稿は8月30日に提出する。取り上げる題材については、草稿としてまとめる前にメール等で相談すること。</p> <p>両レポート課題の最終稿は9月9日に提出する。</p> <p>後期：教材2のレポート課題1草稿は11月30日に提出し、レポート課題2草稿は12月25日に提出する。取り上げる題材については、草稿としてまとめる前に、メール等で相談すること。</p> <p>両レポート課題の最終稿は年明け1月5日に提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	60%	<p>課題に関係する重要な論点をおさえているか。</p> <p>結論が明確であるか。</p> <p>結論にいたるまでの理由が必要かつ十分であるか。</p> <p>引用および参照について適切に開示並びに表現しているか。</p>
	観察記録	40%	<p>活発に質問を行うなど積極的に取り組んだか。</p> <p>レポートの提出期限を厳守したか。</p> <p>明瞭かつ論理的な説明を心がけているか。</p>
履修者への要望	<p>教材の内容だけを取り入れるのではなく、受講者自身の考え方も取り入れ、論理的でオリジナルなレポートになるよう心がけて下さい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 中込四郎・伊藤豊彦・山本裕二編著 教材名： 『よくわかるスポーツ心理学』（ミネルヴァ書房，2012年） ISBN-978-4-623-06179-2 2400円+税
	スポーツ心理学に関して、基礎から実践まで網羅されたテキスト。
参考図書	日本スポーツ心理学会編 『スポーツ心理学事典』（大修館書店，2008年） ISBN-978-4-469-06217-5 5700円+税
履修上のポイント	スポーツの発育発達の課題や運動学習的課題、動機づけ的課題、社会心理学的課題（集団・リーダーシップ、ソーシャルスキルなど）について、教材の内容を整理し以下のレポート課題を考える。
レポート課題 1	教材のⅠ章～Ⅲ章までを読み、重要である点や興味を有した点、テキストの中から各章1つ計3つ取り上げ、その頁の要約を行い、それに対する自分の意見・コメントを述べよ。  <b>留意点：</b> 要約は1つにつき平均800字を目安として、そのコメントを400字程度で行うこと
レポート課題 2	教材のⅣ章～Ⅴ章までを読み、重要である点や興味を有した点をテキストの中から各章最低1つ、計3つ取り上げ、その頁の要約を行い、それに対する自分の意見・コメントを述べよ。  <b>留意点：</b> 要約は1つにつき平均800字を目安として、そのコメントを400字程度で行うこと、また動機づけや社会心理的内容は自身の経験に照らして考察すること

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 中込四郎・伊藤豊彦・山本裕二編著 教材名： 『よくわかるスポーツ心理学』（ミネルヴァ書房，2012年） ISBN-978-4-623-06179-2 2400円+税
	スポーツ心理学に関して、基礎から実践まで網羅されたテキスト。
参考図書	日本スポーツ心理学会編 『スポーツ心理学事典』（大修館書店，2008年） ISBN-978-4-469-06217-5 5700円+税
履修上のポイント	スポーツの健康心理的課題や競技心理的課題、メンタルトレーニング的課題、臨床心理学的課題について、教材の内容を整理し以下のレポート課題を考える。
レポート課題 1	教材のⅥ章～Ⅸ章までを読み、重要である点や興味を有した点をテキストの中から各章最低1つ、計3つ取り上げ、その頁の要約を行い、それに対する自分の意見・コメントを述べよ。 <b>留意点：</b> 要約は1つにつき平均800字を目安として、そのコメントを400字程度で行うこと、また教材のⅥ章～Ⅸ章までの重要点や興味を有する面に加え、スポーツの功罪を心理学的見地から言及したレポートにすること。
レポート課題 2	スポーツ心理学諸課題についてテーマを1つ設定し、その課題点の解決策について論述しなさい。 <b>留意点：</b> テーマを設定した理由を含め、課題解決の方法深く掘り下げ、実践的なりポートにすること。

### 基本教材 1

第 1 回	教材の学修と、本科目の課題の理解
第 2 回	課題として取り上げる題材の検討
第 3 回	基本教材の学修 ; 「スポーツと発達」について
第 4 回	基本教材の学修 ; 「運動の制御機構」について
第 5 回	基本教材の学修 : 「運動の学習と指導」について
第 6 回	レポート課題 1 : 初稿の作成
第 7 回	レポート課題 1 : 添削指導に対する修正稿の作成
第 8 回	レポート課題 1 : 最終稿の作成
第 9 回	基本教材の学修 ; 「スポーツと動機づけ」について
第 10 回	基本教材の学修 ; 「スポーツの社会心理①」について
第 11 回	基本教材の学修 : 「スポーツの社会心理②」について
第 12 回	レポート課題 2 : 初稿の作成
第 13 回	レポート課題 2 : 添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2 : 最終稿の作成
第 15 回	レポート課題 1・2 を通じた、本課題に関する全体的な理解の検証

### 基本教材 2

第 1 回	課題として取り上げる題材の検討
第 2 回	基本教材の学修 ; 「運動による健康の増進」について
第 3 回	基本教材の学修 ; 「競技心理」について
第 4 回	基本教材の学修 : 「メンタルトレーニング」について
第 5 回	基本教材の学修 : 「スポーツ臨床」について
第 6 回	レポート課題 1 : 初稿の作成
第 7 回	レポート課題 1 : 添削指導に対する修正稿の作成
第 8 回	レポート課題 1 : 最終稿の作成
第 9 回	「スポーツ心理学の諸問題」についての整理
第 10 回	整理された「スポーツ心理学の諸問題」の問題設定
第 11 回	問題設定された「スポーツ心理学の諸問題」についての調査とその内容の学修
第 12 回	レポート課題 2 : 初稿の作成
第 13 回	レポート課題 2 : 添削指導に対する修正稿の作成
第 14 回	レポート課題 2 : 最終稿の作成
第 15 回	レポート課題 1・2 を通じた、本課題に関する全体的な理解の検証